

(国営総合農地防災事業)

雨竜川下流地区



～農作物の安定した生産のために～

【地域の概要】

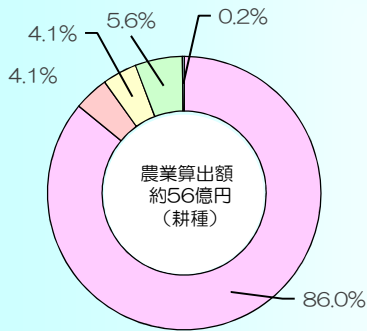
本地区は、北海道雨竜郡妹背牛町及び秩父別町に位置する農業地帯であり、水稻を主体に水田の畑利用による畑作物、野菜類及び花きを組み合わせた営農が展開されています。

地域農業は、水稻の算出額割合が86%と高く、北海道で生産される米の約4%を占めています。生産された米は各町が所有する低温貯留乾燥調整施設で保管され、地域ブランド米（妹背牛町「北彩香」、秩父別町「いなほの鐘」）として、道内外に販売されています。

また、農商工連携により「ちっぷべつ緑のナポリタン」を販売し、地域の発展に寄与しています。

《地域の農業の状況》

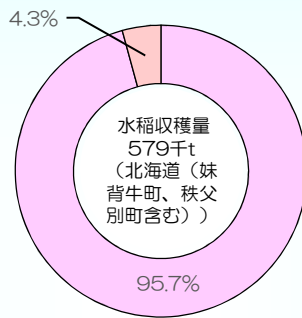
《2町の農業産出額割合》



□米 □麦類・雑穀・豆類 □野菜 □花き □その他

出典：平成27年市町村別農業算出額（推計）

《北海道における2町の水稲収穫量割合》



□北海道（妹背牛町・秩父別町除く）
□妹背牛町+秩父別町

出典：平成28年作況調査

《「特Aランク」のブランド米》



《地域ブランド米（北彩香、いなほの鐘）》

《農商工連携による地域の発展》



《ちっぷべつ緑のナポリタン》

特産品であるブロッコリー等を活かした「ご当地グルメ」や「加工食品」を開発。農商工連携により、原材料の生産、加工、飲食店での提供までを地域で完結させることにより、地域農業の収益力の向上を図っている。

【地区の課題】

本地区の基幹的農業水利施設である八丁目頭首工は、洪水等の自然的状況の変化に起因する河床洗掘の進行により、浸透路長が不足し、施設の機能が低下していることから、頭首工の転倒によって農作物、農地等への災害のおそれが広域的に生じています。

■河床洗掘による頭首工の安全性低下

年度	八丁目頭首工 計画高水流量	
昭和40年	2,200m ³ /s	八丁目頭首工造成時
↓		
平成19年	2,500m ³ /s	計画高水流量の変更

頭首工の安全性が不足

平成14年撮影

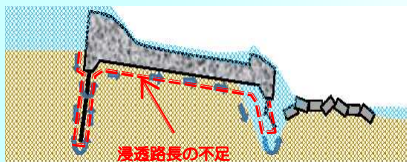


平成27年撮影



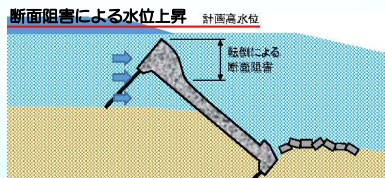
2.70m河床低下 (H27時点)

■八丁目頭首工の用水供給の停止、広域的な災害のおそれ



浸透路長の不足

- 河床洗掘により、下流側護床工が低下し、浸透路長が不足。
- 浸透路長の不足に伴うパイピングによる固定堰転倒の懸念。



断面障害による水位上昇 計画高水位

転倒による
配管破損

- 固定堰の転倒にともない、用水供給の停止に加え、河川堤防が破堤した場合、広域的な災害が発生するおそれ



【事業の効果】

八丁目頭首工等の改修を行い、頭首工の施設機能を回復することにより、農作物、農地等の広域的な災害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。

【現況】



頭首工等の改修



【改修後イメージ】



農業生産の維持



【米の収穫状況】



【地区の概要】

- ◎関係市町村 : 雨竜郡妹背牛町、同郡秩父別町
- ◎受益面積 : 829ha
- ◎受益戸数 : 58戸
- ◎主要工事計画 : 頭首工(改修) 1カ所、揚水機(改修) 1カ所、導水路(改修) 1条 L=2.5km
- ◎工期 : H29 ~
- ◎主要作物 : 水稻、小麦、大豆、ブロッコリー、花き(スターチス)